

第9章 自然環境

1 現況

富津市内には、富津岬から金谷に至る海岸部と鹿野山を中心とする南房総国立公園及び鹿野山周辺の一部と高宕山を中心とする県立高宕山自然公園地域があり、豊かな自然に恵まれている。

自然公園内での家の建築、宅地の造成などに対しては、「自然公園法」により各種の規制をして自然を保護しているが、さらに、千葉県ではリゾートマンション等の建設が、自然景観その他の環境に著しい影響を与える恐れがあることから、事前に必要な指導等を行うことにより良好な環境の保全を図ることを目的に、「千葉県自然公園等における建築物等の建設に係る指導要綱」が制定されている。

また、新富地区を中心とする進出企業に対しては、規模に応じて県または市の指導により、緑化協定等を締結し、工場及び周辺地域の環境整備を図っている。

2 首都圏自然歩道

首都圏自然歩道は「関東ふれあいの道」とも呼ばれ、関東地方1都6県をぐるりと一周する総延長約1,665kmの長距離自然歩道である。

東京都八王子梅の木平を起終点に、高尾山、奥多摩、秩父、筑波山、九十九里浜、房総、三浦半島、丹沢などを結んでおり、美しい自然や歴史、文化遺産にふれあうことのできる歩道で、より多くの人々が利用出来るよう10km前後のコースに区切り、それぞれ起終点が鉄道やバス等と連絡するようになっている。

なお、富津市は表9-1の3コースが該当となっている。

(表9-1) 首都圏自然歩道コース・富津市分 (一部君津市・鋸南町も含む)

コース番号	コース名	歩行距離	コースの経由地
24	ニホンザルと出会うみち	9.0 km	下の台～高宕山～高宕観音～石射太郎山～植畑上郷
25	九十九谷をたどるみち	17.4 km	植畑～石射太郎山～マザー牧場～神野寺～白鳥神社 (九十九谷展望園他)
26	東京湾を望むみち	8.4 km	浜金谷駅～観月台～石切場跡～展望台～鋸山～林道口～保田駅

首都圏自然歩道（関東ふれあいの道）千葉コース

